

令和5年度 第1回周南市地域自立支援協議会会議録

1 場所 周南市役所 シビック交流センター(交流室1)

2 日時 令和5年5月30日(火)午前10時から午前11時

3 出席者

(1) 委員

中川 聡(会長)

徳毛 裕之、末廣 睦子、岡崎 裕美、通山 賢一、江田 光信

高松 弘、松本 富士雄、井上 浩(WEB出席)、山根 正徳、

信吉 重治 11名

(2) 事務局

こども・福祉部長、障害者支援課長 外3名

4 欠席者

委員 3名

5 傍聴者

なし

6 内容

(1) こども・福祉部長あいさつ

(2) 委員及び事務局自己紹介

(3) 議事

①周南市障害者計画(第4期)の進捗状況について

②第6期周南市障害福祉計画、第2期周南市障害児福祉計画の実績報告について

③相談支援会議及び専門部会の活動報告について

④運営会議について(地域生活支援拠点事業の推進)

(4) その他

7 審議等経過及び結果

①周南市障害者計画(第4期)の進捗状況について

②第6期周南市障害福祉計画、第2期周南市障害児福祉計画の実績報告について

◎会 長 それでは、資料にそって議事を進めてまいります。

議題の①、②については、関連すると聞いておりますので、事務局から一括して説明をお願いします。

※事務局から説明(当日資料)

◎会 長 委員の皆様からご質問、ご意見などがありましたらお願いします。

○委 員 支給決定者数と実績者数が違いますが、その理由は何でしょうか。

●事務局 支給決定者数は、令和5年3月末現在、実績値は、令和5年2月末現在の数値となっています。また、支給決定者数については、新規決定者数に加え、変更決定の数も入れておりますので、実績との差があります。

○委 員 福祉施設入所者の地域生活への移行について、グループホームへの入所は地域移行に含まれるのでしょうか。

●事務局 地域生活への移行の考え方は、施設からグループホームや一般住宅に移行する人数となっています。

○委 員 障害者就労施設等からの物品・役務等の調達額について、令和3年度から減少しているのが気になります。施設利用者の賃金等にも関係しますので、そのあたりをご理解いただき、積極的な発注をお願いしたいと思います。

●事務局 市役所各課において、積極的な発注をしていただくよう、毎年度はじめに、障害者支援課から庁内各課に対して事業内容の周知をはじめ、発注についてのお願いをしているところです。

○委 員 福祉施設入所者の地域生活への移行について、グループホームへの入所が含まれるのであれば、グループホームがたくさんあればよいのではないかと思います。柳井市には、日中活動支援型のグループホームがあります。そのようなグループホームが周南市にもあればよいと思います。

●事務局 市内には、グループホームが4か所あります。市内だけではなく、周南圏域として連携を図っていく必要もあります。新たな施設整備のお話があれば、国や県の補助制度の活用や、申請する際に必要となる市の意見書などにおいて、しっかりとご支援させていただきたいと思っております。

- 委員 精神障害者や家族の相談支援について、地域活動支援センターとは、どこにあるのでしょうか。
- 事務局 精神障害者につきましては、市内泉原町にごございます泉原病院敷地内にウイングという支援センターが設置されています。
- ◎会長 ご丁寧によくの数値を挙げていただき、ありがとうございました。分析としては、市の支援に対して新型コロナウイルスの影響もあると思いますが、充足していない部分についても、今から戻っていくであろうという分析でよろしいでしょうか。
- 事務局 よろしいと思います。

③相談支援会議及び専門部会の活動報告について

- ◎会長 続きまして、議題の③について、事務局から説明をお願いします。

※事務局から説明(当日資料)

- ◎会長 委員の皆様からご質問、ご意見などがありましたらお願いします。

- 委員 就労について、一昨年の体験であります、子どもが就職できなかったのも、10月にハローワークを通じて相談をしました。ある事業所さんの話を聞いたところ、一般の社員と一緒に仕事をして、少し慣れたら一人で夜勤をしてもらいますということを知りました。さすがに夜勤をするということを知ったときに、疑問に思いました。障害者をどのように雇用するのかということが、わかっていないのではないかと思います。ハローワークからでも、事業所に指導をしていただきたいと思います。また、ある会社の方から、特例子会社を作っても障害者就労をやらなければならないということも聞いたことがあります。障害者雇用を行うには、厳しい面もあることを理解していただきたいと思います。

- ◎会長 これについて、事務局またはハローワークから意見はありますか。

※事務局及びハローワークからは、特になし。

- ◎会長 各企業が勉強会を作って、障害者雇用を充足させようという取り組みを行っている現状もあります。学校としてもそこに結びつくことで、大人の支援、私たちの世代で何ができるのか、ということが明確になってくると思います。

④運営会議について(地域生活支援拠点事業の推進)

◎会 長 続きまして、議題の④について、事務局から説明をお願いします。

※事務局から説明(当日資料)

◎会 長 委員の皆様からご質問、ご意見などがありましたらお願いします。

○委 員 地域生活部会では、昨年度の実績はどのようになっていますか。昨年度、防災関係の内容も行ったと思いますがいかがでしょうか。地域生活部会においても検討をした結果で、今ご説明していただいた協議会の見直しがあるということをご理解いただきたいと思います。

●事務局 昨年度の前半において、地域生活部会を実施しておりますが、申し訳ございません、報告資料を添付しておりませんでした。

○委 員 協議会の構成図について、以前は個別の支援会議というのがベースにあって地域課題を取りまとめ、各部会で審議することになっていたと思いますが、いつの間にか個別の支援会議がなくなっているように思えます。お願いであります。本協議会のベースとなるのは、個別の支援会議であるということを確認にしていきたい。

●事務局 個別の支援会議の中からリアルなニーズを把握することで、地域課題について協議ができると考えています。現在、構成図も見直しを検討しているところでありまして、専門部会も変わっていく中で、どのような表記が良いのかということも含め、検討させていただきたいと思います。

◎会 長 その他よろしいでしょうか。

○委 員 新たに創設予定である事例検討部会とは、どのようなものでしょうか。

●事務局 相談支援会議で行っていたものと同じようではありますが、さらに事例検討を主とする部会としての位置づけとして、さまざまな課題の抽出やどこにつなげていったらよいのかを検討する部会となります。

○委 員 課題の抽出で終わるのでしょうか。事例検討部会は、横断的に行われる部会であると理解していますが、どうでしょうか。

●事務局 委員おっしゃられるとおり、横断的、多角的な視点から課題に取り組む部会です。

○委 員 相談支援会議と事例検討部会があいまいになってしまうと、意味がないように感じます。横断的に行うことで、部会としての機能をはっきりすることが必要であると思います。

◎会 長 ただ今のご発言は、ご意見ということでよろしいですか。

◎会 長 最後に、私から学校の情報について、地域の防災等について話がありました
が、山口高校にいるとき、東日本大震災が起こり、障害のある保護者が亡くな
られました。障害のある子どもたちが通う作業所に支援をしたことがあります。
その時の生徒の反応がすごくよかった。地域連携という意味で、普通高校に対
して、国からも学校の勉強の一つとして奨励されており、また、探している実状
があります。中でも、防災ということはすごくいい視点であると思います。材料を
探している学校に、地域でこのような困りごとがあるということを普通高校に情
報提供することで、さまざまな支援の仕方があるのかというふうには、子どもたち
は支援先を探しています。自分の身を守るだけでなく、地域の高齢者や障害
者もと言われているので、良いつながりが持てると思います。地域全体のニー
ズを普通高校に伝えてみることも良いことではないかと思えます。

◎会 長 それでは、以上で議事を終わります。マイクを事務局にお返しします。

●事務局 会長さん、議事進行ありがとうございました。

それでは、以上をもちまして、本協議会を終了させていただきます。

本日は、ありがとうございました。